

【田原市博物館 テーマ展】

# 渡辺華山と白井烟嵩

令和6年4月13日(土)～5月26日(日)

白井烟嵩は今年で生誕130年を迎えます。本展では、華椿系画家の祖である渡辺華山と、最後の華椿系画家である烟嵩の作品をお楽しみください。

展示室 特別展示室

指定	作者	作品名	制作年	材質	員数	備考
重文	わたなべかざん 渡辺華山	じひつきょうかそうこう 自筆狂歌草稿	江戸時代後期	紙本墨書	卷子	
重文		しょかん わたなべさだみち わたなべかざん つま あて 書簡(渡辺定通、渡辺華山、妻たか宛)	江戸時代後期	紙本墨書	卷子	
	渡辺華山	ちくけいりくいつのず 竹溪六逸之図	江戸時代後期	紙本淡彩	掛幅	椿椿山旧蔵
	渡辺華山	こうしかんぼくず 高士観瀑図	天保9(1838)年	絹本着色	掛幅	
市指	渡辺華山	しょうざんしこう 商山四皓	天保年間	絹本着色	掛幅	
	渡辺華山	にゅうけんず 乳犬図	江戸時代後期	紙本墨画淡彩	掛幅	
	渡辺華山	ぶかんぜんじき こず 豊干禅師騎虎図	江戸時代後期	紙本墨画	掛幅	
	渡辺華山	しゅうけいさんすいず 秋景山水図	文政年間	紙本墨画淡彩	掛幅	
	白井烟嵩	たはらじょうし 田原城址	昭和時代	絹本着色	掛幅	
	白井烟嵩	ひい せきもん 日出の石門	昭和時代	絹本着色	掛幅	
	白井烟嵩	いらごみさき 伊良湖岬	昭和時代	絹本着色	掛幅	
	白井烟嵩	たぐちいわこやさんえんぼう 田口岩古谷山遠望	昭和時代	絹本着色	掛幅	
	白井烟嵩	とよかわかくさんもん 豊川閣山門	昭和時代	絹本着色	掛幅	
	白井烟嵩	しきし い か 色紙 烏賊	昭和時代	紙本着色	色紙	
	白井烟嵩	しきし わ せ しらすぎ 色紙 早稲と白鷺なり	昭和時代	紙本着色	色紙	
	白井烟嵩	しきし ふね 色紙 船	昭和時代	絹本着色	色紙	
	白井烟嵩	さんすいず 山水図	昭和時代	絹本着色	掛幅	
	白井烟嵩	ぎょじんぼんきのず 漁人晩帰之図	昭和21(1946)年	紙本墨画	掛幅	
	白井烟嵩	そうしゅんほうぎゅう 早春放牛	大正～昭和時代前期	紙本墨画淡彩	掛幅	
	白井烟嵩	しゅんせつのず 春雪之図	昭和5(1930)年	絹本墨画淡彩	掛幅	
	白井烟嵩	せいりよくほうらいさんすいのず 青緑蓬萊山水之図	昭和8(1933)年	絹本着色	掛幅	
	白井烟嵩	まつ ははちようず 松に叭々鳥図	昭和時代	紙本墨画淡彩	掛幅	

指定	作者	作品名	制作年	材質	員数	備考
	白井烟嵩	さんすいづ 山水図	昭和46(1971)年	紙本墨画	掛幅	
	白井烟嵩	しゅうせつしやうりんのみづ 驟雪松林之図	昭和時代	紙本墨画	掛幅	
	白井烟嵩	さんしゅううよ 山湫雨余	昭和33(1958)年	紙本墨画	掛幅	
	白井烟嵩	ほうらいさんしゅうけいしんしゅづ 鳳来山秋景真趣図	昭和12(1937)年	紙本墨画淡彩	掛幅	
	白井烟嵩	さんうしやうらい 山雨将来	昭和36(1961)年	紙本墨画	掛幅	
	白井烟嵩	きやうへきひせん 峡壁飛泉	昭和23(1948)年	紙本墨画	掛幅	第4回日展入選

重文＝重要文化財　市指＝田原市指定文化財　全て当館所蔵

## <作者紹介>

### 渡辺華山 寛政5(1793)年～天保12(1841)年

渡辺定通の長男として、江戸に生まれました。はじめ平山文鏡に師事し、白川芝山、金子金陵、谷文晁らに絵を学びました。華山は写実的な描写にこだわりました。特に肖像画を得意とし、西洋の陰影法を巧みに使い、独自の画風を確立しました。また「一掃百態図」(当館蔵)など、当時の文化や風俗を伝える資料が残っています。

### 白井烟嵩 明治27(1894)年～昭和51(1976)年

豊橋市花田町に生まれました。16歳より従兄の白井永川に南画を学びます。松林桂月に師事し、大正9(1920)年、第2回帝展初入選以後、帝展や新文展に出品し、戦後は日展へ出品しました。昭和49(1974)年、渡辺華山顕彰の功績が認められ、田原町町政功労者として表彰されました。

## <作品紹介>

### 鳳来山秋景真趣図

「烟嵩」という号は、鳳来寺山のことで、急峻な鏡岩を背景とする本堂を生涯にわたって描きました。この作品は、同構図としては最初期にあたります。

### 山雨将来

湧き上がる夏雲の白と近景に配された松の墨とのコントラストが見事です。

### 驟雪松林之図

昭和38年、第6回日展に出品した「飛雪」と同構図で、作品としての絶筆と言われているものです。